



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2012 年(平成 24 年)10 月 4 日(木)
第 1096 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (本田 征勇 SAA)

●開会点鐘 (栄田 不二雄会長・柴田 康好会長)



●国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様



国際ロータリー第 2750 地区ガバナー	佐久間 崇源様
同地区副幹事	松村 信幸様
同地区多摩中 G ガバナー補佐	石井 義八様
同地区多摩中 G グループ幹事	相沢 豪様
同地区 R 財団委員会資金推進委員長	石川 礼央様
米山奨学生	金太月さん

●米山奨学金授与 (米山奨学生 金太月さん)

●ホストクラブ会長挨拶 (柴田 康好会長)

先程のガバナー懇談会で、佐久間ガバナーから色々なお話を聞きました。知らなかったこともたくさんあり勉強になりました。

当クラブは来年 25 周年を迎えますが、現在の会員 46 名から 50 名に増強をして、それから色々やっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

●メジャードナー授与式(東京昭島 RC 安保 満会員)

●新会員バッチ授与 (佐久間 崇源ガバナー)



指田 裕士新会員



志賀 義仁新会員



石川 一郎新会員

●ニコニコ BOX 発表 (小島 弘明親睦委員長)

- ◎柴田会長 国際ロータリー第 2750 地区ガバナー、佐久間崇源様御来訪ありがとうございます。
- ◎星野会員 ガバナー訪問と合同例会を祝し
- ◎荒川幹事 佐久間ガバナー、松村地区副幹事、石井ガバナー補佐、相澤グループ幹事ご来訪ありがとうございます
- ◎滝野会員 ガバナー公式訪問合同例会を祝して
- ◎西野会員 佐久間ガバナー、松村副幹事、石井ガバナー補佐、相澤グループ幹事、ご同様ありがとうございます。

- 蜂楽会員 ガバナー、ご来訪ありがとうございます。合同例会、おめでとうございます。
- 曳地会員 合同例会を祝って。
- 本田会員 佐久間ガバナーの来訪を祝して
- ・石川会員 ガバナー公式訪問を祝して。田畑会員ありがとうございました。
- ・伊藤会員 佐久間ガバナー、今日は、来訪ありがとうございます
- ・小島会員 佐久間ガバナーの来訪を祝して！！
- ・小山会員 合同例会ガバナー公式訪問を祝して
- ・佐藤会員 ガバナー公式訪問、合同例会を祝して。
- ・中野会員 ガバナー訪問を祝して。
- ・前澤会員 佐久間ガバナー公式訪問を歓迎して
- ・村野会員 佐久間ガバナー公式訪問合同例会を祝して
- ・山中会員 ガバナー公式訪問、合同例会を祝して
- ・芳見会員 ガバナー公式訪問、合同例会を祝して
- ・渡部会員 佐久間ガバナーを歓迎して。

●卓話 国際ロータリー第 2750 地区ガバナー
佐久間 崇源様



公式訪問には目的がございます。第一は RI 会長のテーマと強調事項、ガバナーの新年度方針をクラブ会員の皆様に直接お伝えして、ロータリーにある諸問題に対して関心を高めていただくことでございます。こちらは直接田中さんがお話になっている DVD がございま

すので、ご覧ください。

次に地区の重点目標についてご説明いたします。こちらは皆様の活動計画書に記載されているものです。私は、地区の運営方針を「ロータリーを楽しもう」Enjoy Rotary としました。私は 36 歳の時、今からちょうど 36 年前にロータリーに入りました。その当時は今と全く違って、若い会員を歓迎するという雰囲気はありませんでした。厳粛で厳めしい会員の中にただ小さくおりました。そのような中で会員が、例会の席上は勿論ですが、炉辺会合などで嬉々としてロータリーの話をするのです。それを私は聞いているのですが、本当に楽しそうに会話をしている感じがしました。私は、本を読んだりしたのではなく、知らず知らずの内にロータリーがどのようなものなのかを教えられました。振り返ってみますと、そのことが、今日まで私をロータリーを楽しもうという気持ちにさせてくれた基本だと思っています。ロータリーの話をするだけで楽しさにつながるなどとは思っていません。時代も変われば、メンバー構成も変わっているわけです。楽しむということは目的に向かって、それを

直視してロータリーについて話をしている内にきっと何か、楽しさの扉を開けてくれることでしょう。

この話をお伝えすることによって、皆さんがどこかでそのきっかけを掴んで楽しんでいただければと思っています。ロータリーは義務ではありませんから、楽しくなければ続きません。

このテーマは 1989-90 年 RI 会長が一度テーマに掲げたものでもあります。私はその当時、分区代理の幹事をしておりましてシンプルで良いテーマだと思って聞いておりました。今回、ガバナーになって皆さんに何を訴えたいかと思った時に、このテーマが浮かびました。どうかロータリーを楽しんで続けてください。

地区強調事項には、3 つ掲げております。1 つめは、クラブにおける戦略計画の立案と実践です。これは、皆さんが皆さんのクラブの行く末を決めるということです。目標に向かって微調整をしながら、努力をしていただきたいと思っております。2 つめは、クラブ又は地域社会で平和活動の推進です。ロータリーの奉仕は様々な形で平和を助長します。ただ、クラブ単位で RI 会長賞に応募しようという場合には、応募条件がございます。地域社会独自の平和フォーラムを開催することと平和に焦点を当てた奉仕プロジェクトを実施することです。3 つめは、公共イメージと認知度の強化でございます。これは RI が今、注力していることで良いプランに対しては補助金も出しています。金沢城の城壁にライトアップしたことなどが有名ですが、私どもの地区では昨年六本木ロータリーさんがポリオエンドナウの広報活動で六本木ヒルズにライトアップをなさいました。今年は京浜グループが合同で羽田空港第一、第二ターミナルのスクリーンを使っての広報活動に補助金が出る予定です。

会員基盤の強化についてですが、地区としては各クラブ 3%以上の純増を掲げました。こちらは RI と同じ方式で申し上げました。RI は 122 万の会員を 3%づつ増強して 15 年には 130 万にするという目標を掲げております。

ロータリー財団への支援についてですが、1 人 100 ドル以上という年次寄付は、両クラブとも積極的に取り組んでいただいていることは、活動計画書を読んでよく理解しております。感謝を申し上げるばかりでございます。ただ、100 ドルに満足することなく寄付に対する思いを皆さんに持っていただきたいと思っております。自分の時間と身体を使って下さる奉仕と寄付による奉仕を是非実践していただきたいと思っております。寄付をしていただくことで減るものではありません。それをクラブで使っていただくことにより、その結果を共有することが出来ます。仮にクラブで使わなくても、日本や世界のどこかで皆さんの寄付を原資として、代わって奉仕活動をしてくれる人がいるのです。

ロータリー米山記念奨学会への支援についてですが、奨学金は皆さんの寄付によって賄われておりますので、これが少なくなってしまうと、奨学生の数を減らすしかなくなります。日本独自に続いてきたこの支援をどうか続けてください。地区としては、8000 万円という目標をたてましたが、これをなかなかクリア出来ておりません。東京という強固な経済基盤がこの程度で良いのかという思いが私にはございます。是非、積極的な支援をよろしくお願いいたします。

●謝辞 (東京昭島 RC 柴田 不二雄会長)

●閉会点鐘 (柴田 不二雄会長・柴田 康好会長)